

## ハンドボール 戰評用紙

大会	全国高校総体県予選				性別	女子
日時	令和 4年 6月 18日 (土)				準決勝	
会場	浦和駒場体育館				THROW-OFF	10 : 00 ~
審判	池田 大輔				吉本 聖矢	

チーム名	total	total	チーム名
埼玉栄	32	17	三郷北

## 戦評

準決勝第1試合目は、三郷北のスローオフから始まった。立ち上がりは両校とも緊張から動きが硬くミスが続く。口火を切ったのは、三郷北13番金子。埼玉栄もすぐさま取り返そうとするが、シュートミスが目立ちその間に三郷北13番金子に連続得点を許す。そのまま三郷北の流れになるかと思われたが、三郷北にミスが出る。埼玉栄はそこを見逃さず5連続得点で逆転する。その後は膠着するも、埼玉栄7番松原が決めて突き放しにかかるが、すぐさま三郷北は2番渡部が決めて取り返す。三郷北は2番渡部と3番岸を主体としてゲームを組み立てようとするが、ミスが目立ちタイムアウトを要求。その後、立て直して得点を重ねるが、埼玉栄の早い速攻に加え、シュートが枠をとらえ始める。三郷北も必死にDFをするが、徐々に突き放されていき8対15で埼玉栄のリードで折り返す。後半は開始すぐに埼玉栄10番小山が得点する。その後、両校とも得点を重ねるが、埼玉栄がパスカットからの早い速攻で突き放していく。11対20まで引き離されたところでたまらず三郷北のタイムアウト。三郷北は3番岸が主軸となり得点を重ねるも、埼玉栄は崩されていたPV周りのDFを修正し流れを渡さない。終始流れを渡さなかった埼玉栄が32対17と昨年度優勝校としての実力を見せ勝利を収めた。

戦評記入者

中島 貴規